

創ろう!みなみの愉快 探そう!みらいの舞台

— みんなの『THUMBNAIL』をつなげて —

第081号(R07.02.03)

～ 全校朝礼【つなげて】のお話 ～

みなさん、おはようございます。学校は、楽しいですか。

3学期のスローガンを意識した計画を、もう一度確認しましょう。各クラスで決めたことを、1月31日まで実行できましたか。

まず、クラスで実行したことを、今から伝えます。伝えた後に答えられるかな。よ～く、よ～～～く見て下さい。

(中略)

みなさんに、クラスで実行したことを伝えました。伝わりましたか。もう少し簡単な言い方にしますね。クラスでしたことを見せました。わかりましたか。

なんで、わからなかったのでしょうか。

▲文字が小さかった、▲文字が薄かった、▲わからない漢字があった、
▲早すぎてスライドが見えなかった、▲スライドの情報が多かった

クラスで実行したことを伝えましたが、みなさんには伝わりませんでした。伝わるということは、相手がわかるということです。

もうひとつ、伝わるためには、自分と相手がよい関係であることが大切です。そのためのポイントを教えます。

- | | |
|-----------------|------------|
| ①自分と相手の共通点を見つける | ②相手を知りたくなる |
| ③カッコ悪い自分も見せる | ④笑顔で話す |

それでは計画に戻ります。2月16日までに、今までクラスでがんばってきたことを全校に知らせます。クラスでまとめて、上手に知らせてください。

知らせる方法はポスター、放送、４コマ漫画、ホームページの活用など、いろいろあります。クラスで工夫できるといいですね。

私も、「あいさつ」と「校舎内を歩く」について、新たな方法を考えて、伝えます。

上手に伝わるためのヒントを教えます。始業式を思い出しましょう。あいさつについて、４つの文字「オアシス」で紹介しました。

その後、たくさんの子供たちが「校舎内を歩く」について、４つの文字で紹介していました。

このように、名前を付けて知らせると、印象に残りやすいです。

図書室にあった「海の１００階建ての家」という本です。他の本より、大きくて目立ちます。

「この本、おもしろいよ。」と言うより、おもしろさがわかる言い方です。

「３０人のクラスで、２５人が読んでいるよ。」と言えば、ほとんどの人が読んでいると気付きます。

「おもしろすぎて、３回も読み返しちゃった。」と言えば、おもしろさのレベルが数字でわかります。

マイナスからのスタートで伝える方法です。この人、子供の頃、魚のことばかり考えて、学校の勉強は全然できませんでした。変わった子だと思われていましたが、今では、大学の先生になっています。最初に、マイナスのことを伝えと、すごさが目立ちます。

次は、たしざんで伝える方法です。

これは、カルビです。「見て！ この『幻のカルビ』は、『北海道の広い牧場』でのんびり育った『高級牛』なんだ。『選び抜かれた材料で作られた秘伝のタレ』につけると、『ジューシー』で『ほっぺた』が落ちます。」

いろいろたすことで、もっと食べたくなるでしょ。

有名な野球選手も、このバットを使ってから、ホームランの本数が急激に増えたそうです。有名人を使うことでバットの印象がよくなります。

今日のヒントを参考にして、各クラスのすてきなお知らせを楽しみにしています。

実行方法は、こちらで検討してお知らせします。

南小のみんなでつながる３５日間になってほしいと思います。６年生は、あと３３日間で卒業です。毎日の生活を大切に過ごしましょう。

これで、お話を終わりにします。